

信秋タイムズ

第2号

安全で美しいふる里をつくろう

地域づくり
国土づくり
一筋の人生

あっという間に1年が過ぎました。この間の皆様のご支援、ご指導に心から感謝申し上げます。

1 佐藤信秋の国会活動

- 2007.9.10 168回国会(臨時会)開会 _____ 128日間
 - 2008.1.15第168回国会(臨時会)閉会 _____
 - 2008.1.18第169回国会(常会)開会 _____ 156日間
 - 2008.6.21第169回国会(常会)閉会 _____
- (憲法59条に基づく衆議院2/3以上による再可決)
- 2008.1.11新テロ特措法
 - 2008.4.30税制関係法案
 - 2008.5.13道路財源特例法案

国会の勢力分野(会派別)

区分	自民	公明	与党計	その他	合計
衆議院	304	31	335	145	480
参議院	84	21	105	137	242



2008.4.23 「災害対策特別委員会」

2 佐藤信秋の経済財政運営に関する見解と主張

主張

暮らしと雇用を守り、地域と経済を活性化させる。このため、中長期的全体的視野の上で、積極的、機動的政策の展開が重要。

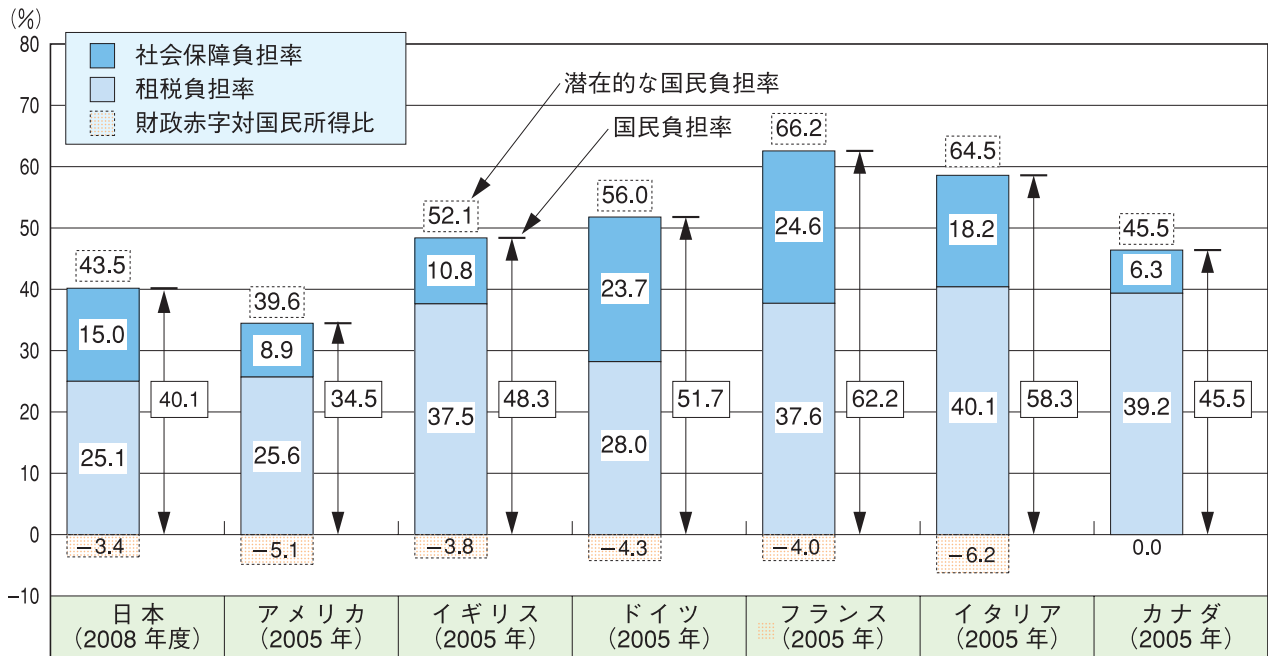
①長期間にわたり、歳入が増えていないのが一番の課題。

表-1 我が国の税収の推移

	平成元年度(決算)	平成10年度(決算)	平成20年度(当初)
国 税 (兆円)	57.1	51.2	55.1
地 方 税 (兆円)	31.8	35.9	41.2
合 計 (兆円)	88.9	87.1	96.3
対 GDP 比 (%)	21.4	17.3	18.3
名 目 GDP (兆円)	414.7	503.3	526.9

図-1 国民負担率の国際比較

〔国民負担率=租税負担率+社会保障負担率〕 〔潜在的な国民負担率=国民負担率+財政赤字対国民所得比〕



②その中で歳出も削減継続。 社会保障関係費も自然増を圧縮。

表-2 一般会計歳出(当初)

(単位:兆円)

	国債費	地 方 交付税等	公共事業 関係 費	社会保障 関係 費	文教及び 科学振興費	防衛関係費	その他	計
平成10年度	17.3	15.9	9.0	14.8	6.3	4.9	9.4	77.7
(シェア)	22.2%	20.4%	11.6%	19.1%	8.2%	6.4%	12.1%	100.0%
平成20年度	20.2	15.6	6.7	21.8	5.3	4.8	8.7	83.1
(シェア)	24.3%	18.8%	8.1%	26.2%	6.4%	5.8%	10.4%	100.0%
H20/H10	1.1680	0.9838	0.7496	1.4675	0.8371	0.9676	0.9207	1.0694

③公共事業も削減が続く項目別のシェアも固定化。

図-2 一般公共事業の項目別シェア

〈1〉 予算 (単位：兆円)

	道路整備等	住宅対策	公園	下水道	治水等	都市環境等	港湾	空港	新幹線	農業農村整備	その他	計
H10	2.5	1.1	0.2	1.1	1.1	0.1	0.3	0.1	0.0	1.1	1.2	8.9
H20	1.9	0.7	0.1	0.7	0.8	0.3	0.3	0.2	0.1	0.7	0.9	6.7

〈2〉 シェア (単位：%)

	道路整備等	住宅対策	公園	下水道	治水等	都市環境等	港湾	空港	新幹線	農業農村整備	その他	計
H10	28.5	12.2	1.8	12.5	12.7	1.6	3.8	1.6	0.3	12.2	12.9	100.0
H20	29.1	10.6	1.6	9.9	12.7	5.2	3.8	2.3	1.1	10.3	13.4	100.0

④道路についても予算削減、年度当初では特定財源の一部は、道路にあてられず、年度当初には一般財源として活用されている状況。

H20年度 国分 3.3兆円 うち道路整備充当分3.1兆円 (関連含む。)
地方分2.1兆円 うち道路整備充当分2.1兆円

⑤しかし、災害関連等の危機管理対応補正予算が必ず必要となり、結果的には、過去10年でも特定財源だけでは、不足し、3兆円を超える一般財源(建設国債)を投入。

⑥従って重要なことは、一般財源化するとしても、道路予算は他の社会資本同様建設国債で十分確保することが前提。

⑦現在の石油高、諸物価高騰、社会基盤の荒廃、農林漁業、建設、運輸等地域の暮らし、産業の疲弊に対して、早急かつ本格的な財政、金融出動必要！

3 佐藤信秋の国会質問の主なポイント

①2008.2.5 予算委員会締めくくり総括

補正予算は、年度の途中でどうしても対応しなければいけない緊急課題に対応して、メリハリつけて重点的に。

②2008.3.27 国土交通委員会大臣所信の質疑

減災、シャッター通り対策、建設産業の再生、観光立国推進、航空行政、緊急地震速報、建築基準法の改正、トン数標準税制、道路財源問題等広範に主張。

③2008.4.23 災害対策特別委員会

能登半島地震、中越沖地震等の被害者生活再建支援の迅速、円滑な執行要請、地震対応マニュアルの策定推進要請等。

④2008.5.22 国土交通委員会 地域公共交通活性化法改正

地方鉄道の再構築事業の今後のポイント二点

鉄道会社から公共団体等への譲渡価格の設定方法
管理運営の役割分担の明確化、

を指摘。

⑤2008.6.20 災害対策特別委員会 岩手・宮城内陸地震

地元公共団体の要請に応え、早急な激甚災指定、系統的な直轄代行、災害査定を待たず復旧工事先行を指摘。警察、消防、地元建設産業等の救助、復旧努力に感謝。



2007.8.2 「中越沖地震被災地現地視察」



2008.7.6 「岩手・宮城内陸地震被災地現地視察」

お問合せ・編集部

「信秋タイムズ」は、参議院議員佐藤信秋の政治活動に共感していただける方にお送りしております。

毎号ご希望の方は、是非、編集部までご連絡ください。

E-mail : info@sato-nobuaki.jp

FAX : 03-5512-2503

さとう のぶ あき 佐藤信秋 プロフィール

昭和22年 新潟県に生まれる
昭和47年 京都大学大学院修士課程修了
昭和47年 建設省入省
平成17年 事務次官（平成18年7月退官）
平成19年 参議院議員選挙 初当選

国会事務所

〒100-8962
東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館503号
TEL 03-3508-8503 FAX 03-5512-2503

後援会事務所

〒102-0072
東京都千代田区飯田橋1-4-2 九段ウィズビル2F
TEL 03-3262-6635 FAX 03-3262-1900

新潟事務所

〒951-8127
新潟県新潟市中央区関屋下川原町2-45
TEL 025-267-2455 FAX 025-267-2466